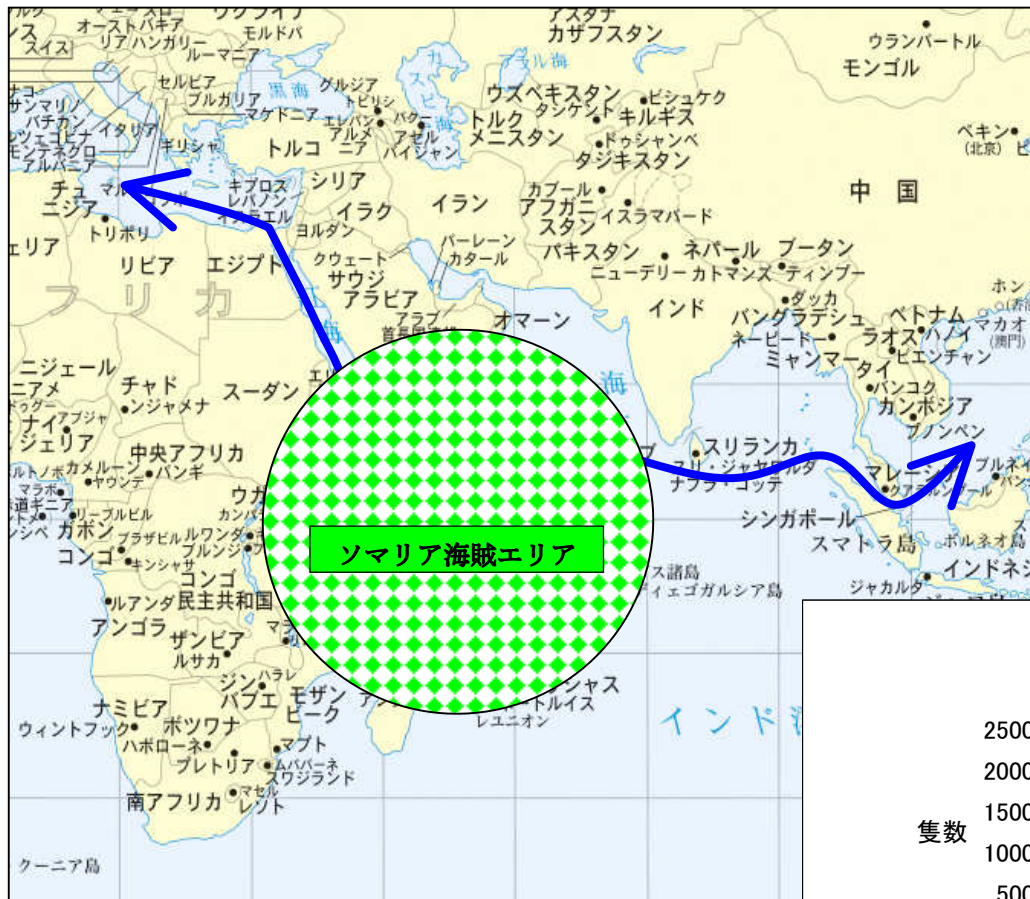


海上における海賊・テロの脅威

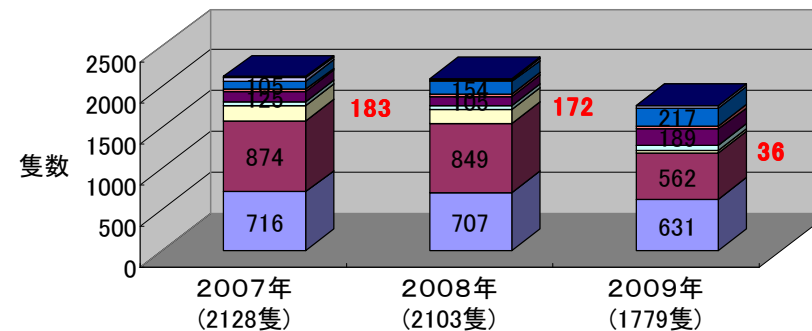




(1) アデン湾の重要性

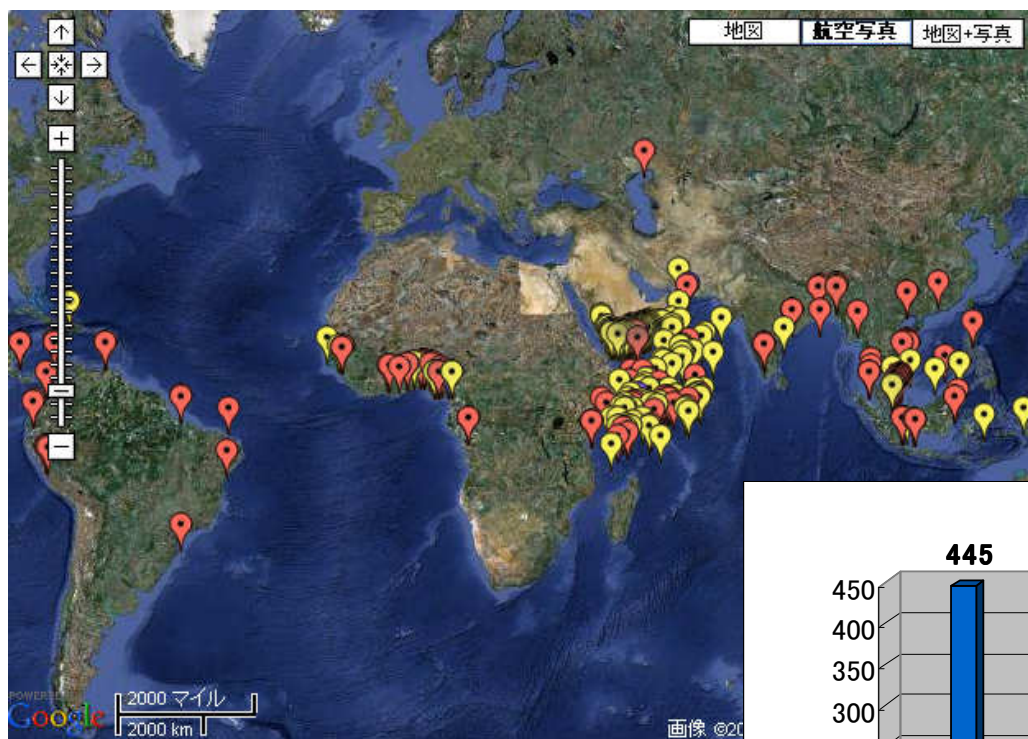





日本関係船舶のアデン湾航行実態



- コンテナ船
- 自動車船
- バルカー
- タンカー
- LNG船
- LPG船
- ケミカル・プロダクト
- 雑貨船
- その他

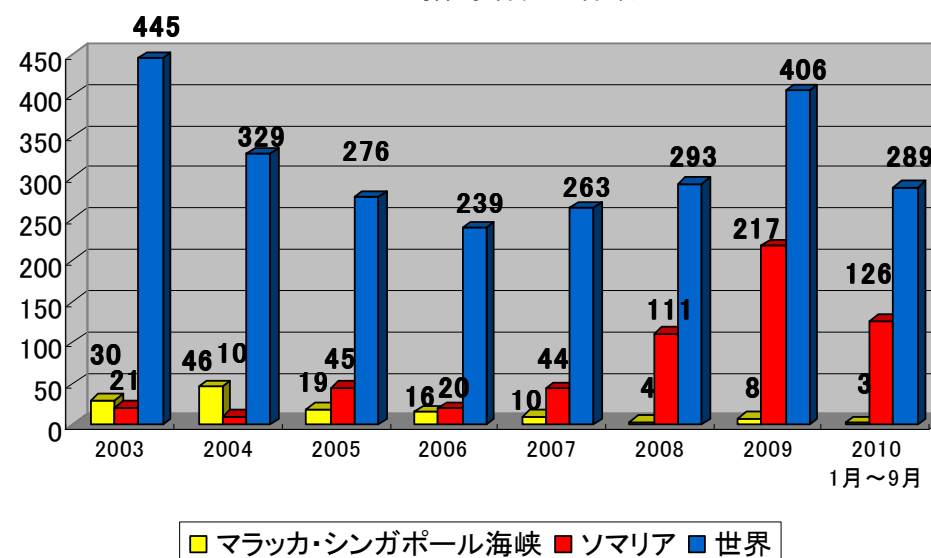
(2) 世界の海賊事件



-  既遂(乗込まれたもの)
-  = 未遂(乗込まれなかったもの)
-  : 海賊の疑いがある船舶

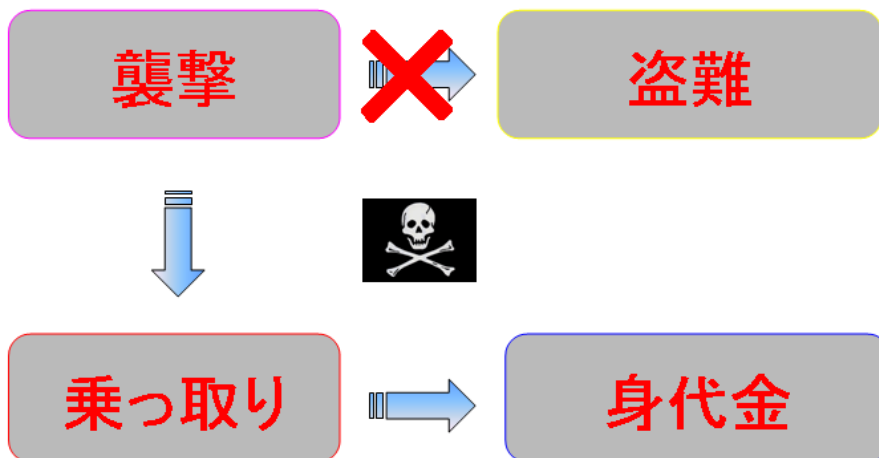
【IMB Piracy Map – 2010】

IMB - 海賊事件発生件数



(3)ソマリア海賊の特徴

ソマリア海賊の特異性



海賊ボート



UKMTO

海賊母船



UKMTO



UKMTO

(4) 国際的な取組み

国連 – 安保理決議(2008年6月～)

- ・ ソマリア海賊対策のために領海へ侵入を認めるなど、海賊抑止のための協力を呼びかけ
⇒ コンタクトグループの設置(関係国・機関の調整)

IMO – 海賊および武装強盗の抑止に関する行動指針を採択(2009年1月)

艦船の派遣

- ・ EU軍 (Atalanta: 2008年12月～)
- ・ 有志連合軍 (CTF151: 2009年1月～)
- ・ NATO軍 (Ocean Shield: 2009年8月～)
- ・ 各国 (日本を含み独自の護衛を実施)



(5) 日本 の 取 組 み

日本 の 対 応




- ・ 海上警備行動発令(2009年3月13日)
 - ⇒ 3月30日から、日本関係船舶に限り護衛艦がアデン湾での護衛活動開始
 - ⇒ 6月11日から、P-3C哨戒機2機が警戒監視活動開始
- ・ 海賊対処法成立(2009年6月19日)
 - ⇒ 7月28日から、日本関係船舶以外の船舶についても護衛活動開始

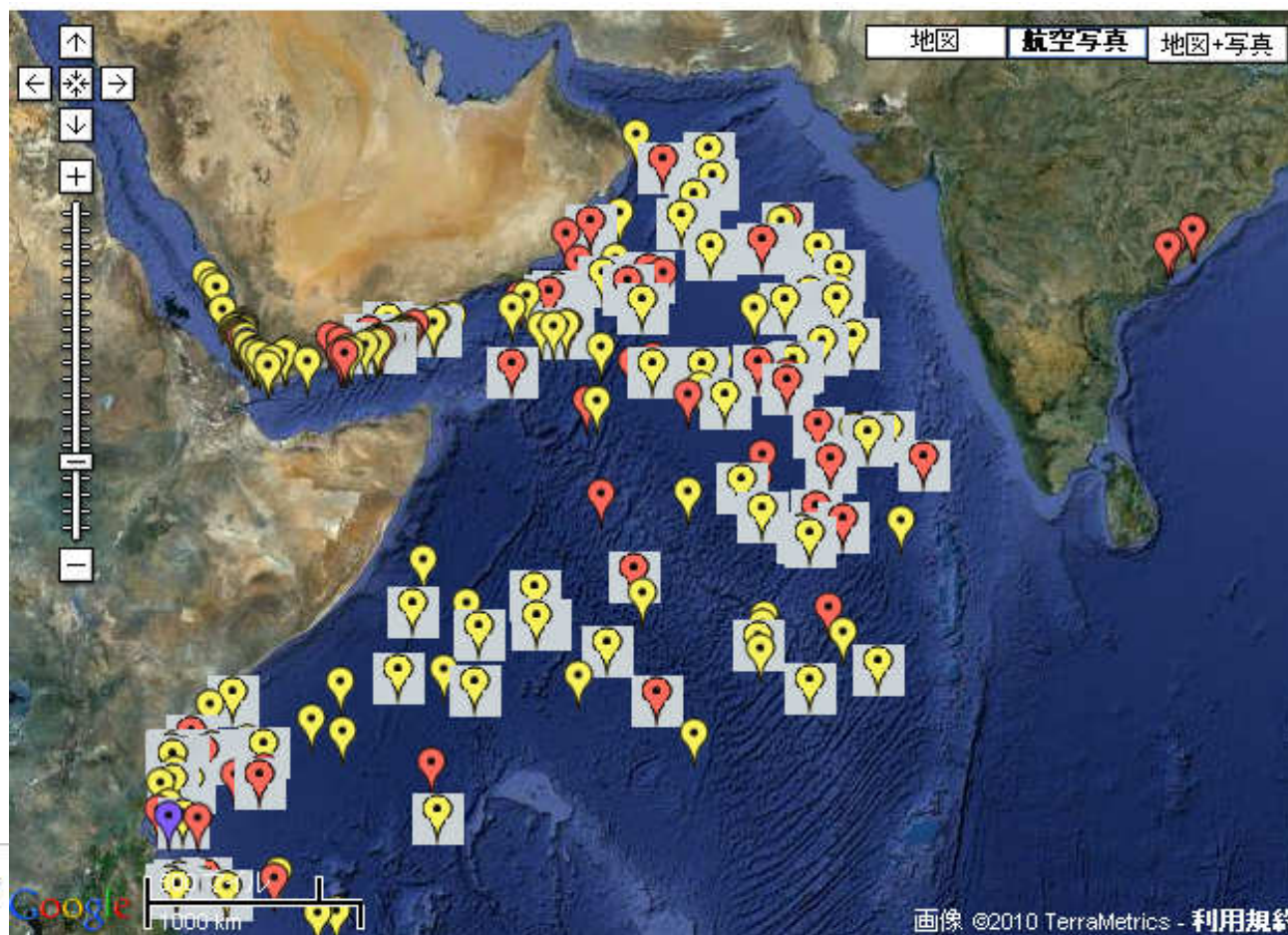


海上自衛隊の活動実績(2009年3月30日～2011年1月3日)

- ・ 護衛回数:207回
- ・ 総護衛隻数:1534隻
- ・ 護衛隻数(日本関係船):461隻

(6) 海賊活動の拡大

 既遂(乗込まれたもの)
  = 未遂(乗込まれなかったもの)
  : 海賊の疑いがある船舶



(8)ソマリア海賊の問題点と課題

問題点

- エリアの更なる拡大
- 身代金高額化、拘束期間長期化
- 海賊装備の充実、凶悪化

⇒ ソマリア復興には時間がかかり長期化が予想される

今後の課題

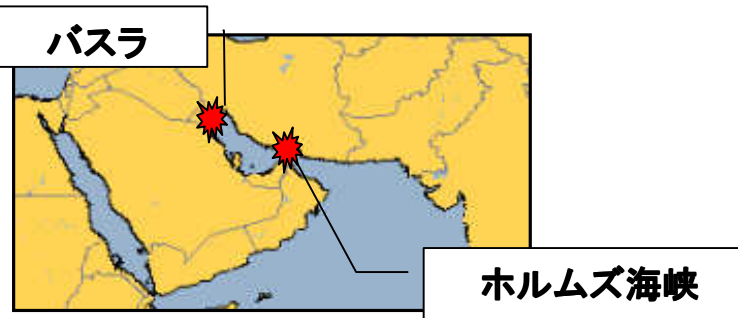
- 艦船配備数は限定、守備範囲は広大
- 海賊拘束後の法整備、国際的な裁判システムの不備
- 海賊行為、現行犯でのみ処罰
- 沿岸国への援助(武器輸出3原則等の制限)
- 完全な海賊対策が存在しない

(10)ホルムズ海峡・ペルシャ湾での事件

バスラ オイル ターミナル襲撃 事件



2004年4月24日 ペルシャ湾イラク沖の
石油積出し港で、テロリストの乗った小
型ボートによる自爆攻撃。



M. STAR 号事件



2010年7月28日 ホルムズ海峡付近を
航行中のタンカーに、小型ボートによる
自爆攻撃嫌疑。